



オーベルジュほまち 三國湊
Auberge Homachi Mikuniminato
Factbook

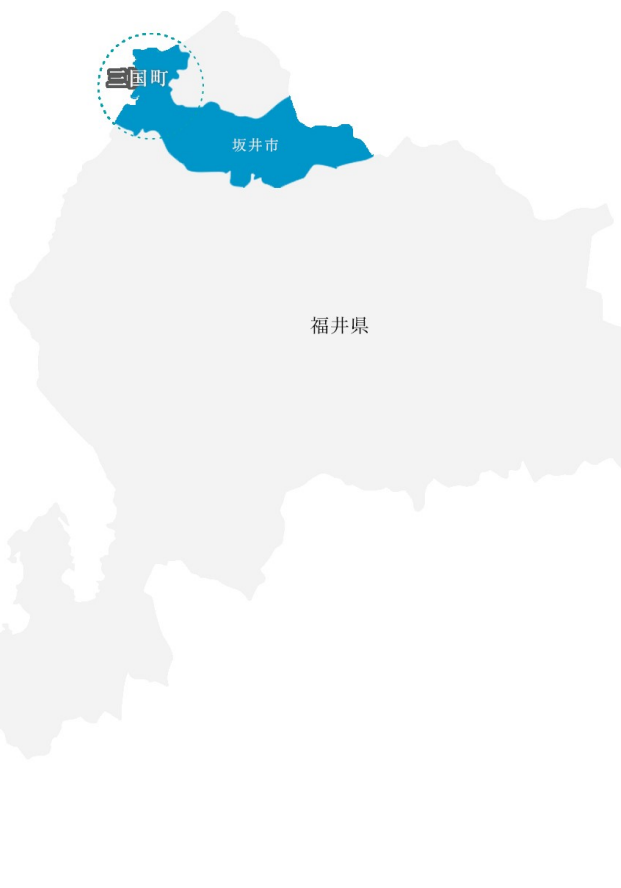
2025.7

目次

- 三國湊概要
- 『オーベルジュほまち 三國湊』
- 『タテルヨシノ 三國湊』
- 三國湊で楽しめること
- 近隣の見どころ
- 事業主・運営会社について
- 問い合わせ先



三国湊 概要



- ロケーション： 福井県の北部を流れる九頭竜川と竹田川が合流する地点から九頭竜川右岸に沿った河口までが中心のエリア
現在の福井県北部の坂井市三国町の一部
- アクセス： 福井駅からえちぜん鉄道三国芦原線「三国」下車（中心エリア）
小松空港から車で約1時間
- 人口： 約2万人（福井県坂井市三国町 令和2年）
＜出典：令和4年坂井市統計年報より＞
- 面積： 46.42km²（福井県坂井市三国町）
＜出典：令和4年坂井市統計年報より＞
- 観光客入込数： 「三国湊町散策」 283,000人（2022年）
（延べ人数） ＜出典：令和4年福井県観光客入込数（推計）＞

福井県観光データ＜出典：福井県観光客入込数（推計）令和5年 福井県＞

- 福井県県外客の発地別割合：関西38.0%、中京24.6%、北陸18.7%、その他7.7%
関西＋中京地区からの入込数が全体の6割超を占める
- 福井県訪日外国人宿泊者数：64,900人（2023年） 全国46位
- 福井県外国人宿泊者の国別割合：香港27.8%、台湾21.0%、中国9.1%、韓国4.4%
香港・台湾からの宿泊が突出して多い傾向

三國湊 概要

- 歴史：

「九頭竜川」の河口に位置し、千年以上前の文献にも「三国」という地名の記述があるほどに歴史ある町。
江戸時代から明治時代に『北前船』で栄え、江戸後期には豪商が現れ日本海側有数の北前船の寄港地となった。



- 季節のイベント(一部)：

三国祭：



毎年5/19-21に行われる
三國神社の例大祭。
北陸最大祭の1つ。

高さ6mにも及ぶ巨大な
武者人形山車が町内を練
り歩く。

三國湊帯のまち流し：



初秋の夕暮れ、三国節の
ゆっくりとした音色や唄
にあわせ、踊り手たちが
帯の幅ほどの風情ある街
並の中を踊り流す。

- 文化：

北前船の寄港地として栄えた三國湊ならではの文化が生まれる。



笏谷石（しゃくだにいし）：

福井市の足羽山のみで採掘され、濡
れると青緑色を発する石。北前船で
全国に運ばれる。三國湊ではお寺や
神社など街中で出会うことができる。



かぐら建て：（写真は旧岸名家）

三國湊でしか見られない切妻造妻入の主体部
の前方に平入の表屋を付けた町家の建築様式。

三國湊かに祭り：



毎年、11月中旬頃
に行われる、三国
湊で水揚げされた
新鮮な越前かにや
地元特産品の味を
紹介・販売するイ
ベント。

「オーベルジュほまち 三國湊」

- 名称について：
「帆待ち」とは北前船が出港前に波が治まったり、良い風が吹くのを待っている状態。北前船の船乗りたちは、その間、船に持ち込んだ積み荷を売ったり、別の荷役をしたりして報酬を得ていた。転じて、当地三国では子供達のお駄賃、ご褒美のことを「帆待ち」と言ったとのこと。

この地に来られるお客様がしばし休まれて次の目的地に向かわれるまで、この地での滞在が忙しい日常を過ごされているお客様への「ご褒美」となるように願いを込めている。

- ロゴについて：



モチーフは北前船。わずかに風をはらんだ帆は楽しい旅への期待感を形にして船体部分にあたる五角形は三國湊の町家の特徴である「かぐら建て」を表現。当地のシンボルを表現しながら、海外のお客様に和の雰囲気印象付ける。

- オーベルジュとは？
オーベルジュの発祥はフランスで、“郊外や地方にある宿泊設備を備えたレストラン”のことを指す。新鮮な美味しい食材を求めて郊外や地方に移住したシェフが、美味しい食を求めて遠方から訪れるお客様を料理でもてなし、部屋を提供したのが始まりと言われている。

- 施設概要：
宿泊棟： 9棟16室
1室の最大宿泊人数2人～4人

レストラン棟： 1棟

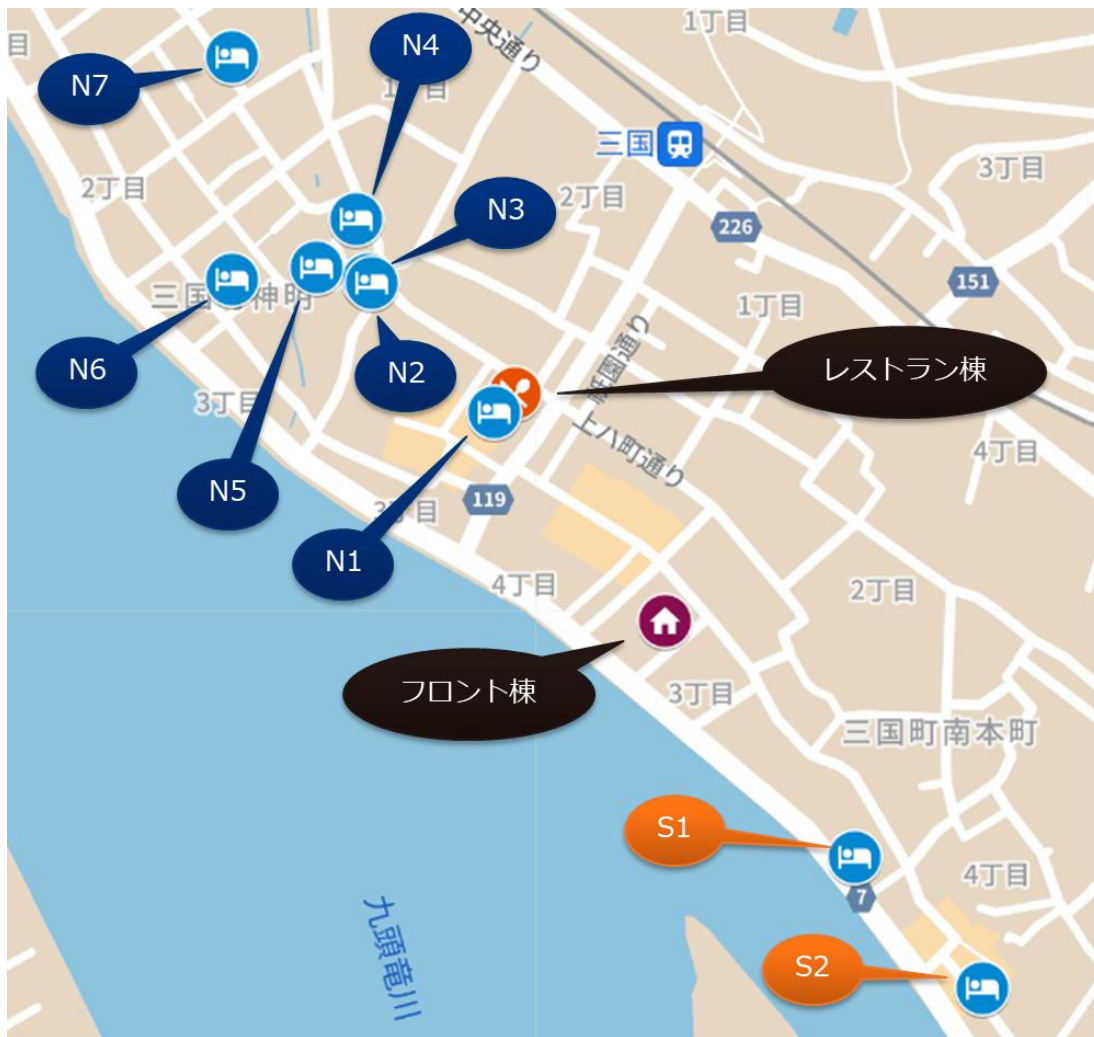
フロント棟： 1棟

施設構成： ジム



「オーベルジュほまち 三國湊」

- 分散型宿泊施設：フロント棟を中心に半径800m以内に点在



#	部屋番号	客室名	テーマ	歴史・特徴	延床面積	最大定員
1	N1	工の字/KONOJI	文学	北前船交易が盛んだった頃、裕福な商人たちが句会を開いた金鳳寺に近い客室です。客室名でもある【工の字】は工（こう）の字を連続してつなぎ合わせた文様です。延命や長寿の意味があり、真ん中に一本筋が通り、芯を貫く意志の強さを表現しております。多くの商人たちもその意志の強さから当地の繁栄を築いたものと思われます。	89.26	4名
2	N2	毘沙門/BISHAMON	武道	客室名の【毘沙門】は固く身を守る亀の甲羅をイメージしており、亀甲模様には健康長寿、厄除けの意味があり、またその変形が財福の武神、毘沙門天の甲冑に配されています。	86.81	4名
3	N2	矢羽根/YABANE	武道	当時の小屋根が残り、出窓の格子や大きな石の蹲（つくばい）や灯籠を配置したお庭が特徴的で非常に規模が大きい町家となっています。客室名の【矢羽根】は雄島神社の神事で使う破魔の弓矢をイメージしています。矢羽根の文様には、魔を祓う、的を射る、などの意味が込められています。	71.23	2名
4	N3	麻の葉/ASANOHA	着物	客室名の【麻の葉】は成長が早く真っ直ぐに伸びるため、子供の健やかな成長の願いが込められています。麻の丈夫な繊維はしめ縄や祓串などの神具にも使われていることから魔除けの意味があり、昔から産着の柄として親しまれています。	69.91	2名
5	N3	鱗/UROKO	着物	客室名の【鱗】の文様は、生き物の身を守る鱗に似ていることから「邪気払い」の意味や、鱗を持つ蛇は脱皮を繰り返すことから「再生」の意味もあります。身を守る鱗を、三国の町で人々が美意識を競い合った着物に見立ててイメージしています。	55.97	2名
6	N4	立湧/TATEWAKU	風呂	中庭を挟んで湯屋（浴室）が独立したデザインを持つ、特徴的な町家です。建具を可能な限り残し当時の暮らしを存分に体験いただける客室となっています。客室名の【立湧】は水蒸気水蒸気や雲が湧き立ちのぼっていく様子を表し、運氣が上がるという意味も込められています。	90.36	2名
7	N5	井桁/IGETA	和菓子	客室名の【井桁】は井戸の縁に組まれた木枠を象徴化した「井」を模様にした柄。お菓子づくりには欠かせない水にまつわる模様であることから、生活になくはならない井戸を守ることを表し、家内安全の意味が込められています。	56.52	2名
8	N5	七宝/SHIPPO	和菓子	客室名の【七宝】は仏教用語で「金、銀、水晶、瑠璃、珊瑚、しゃこ」の七つの宝を指し、同じ大きさの円が永遠につながる柄には円満・調和・ご縁が続くようにという願いがこもっています。昔は貴重であった甘いお菓子を宝物に見立てています。	66.61	2名
9	N6	枳/MASU	料亭	明治初期に建てられた建物で、当時は多くの文人が通った料亭。客室名は、料亭→宴会→酒枳と連想して名付けています。体積を測るための「枳」は、「増」や「益」と響きが同じであることから縁起物とされ酒器として使われるようになったとも言われています。	71.86	2名
10	N6	松皮菱/MATSUKAWABISHI	料亭	明治初期に建てられた建物で、当時は多くの文人が通った料亭。客室名の【松皮菱】の松は、海に近い三国では防風、防砂のために植えられています。常に緑を保てることから、「長寿延命」を表す縁起の良いものとされ、その樹皮をかたどった松皮菱には厄除けの意味があるとされています。	65.02	2名
11	N7	桧垣/HIGAKI	工芸	客室名の【桧垣】は檜の薄板を斜めに編んだ垣根で、規則的に並んでいる事から行儀作法・礼を尽くすという意味があります。当地に多くいた職人達の丁寧な手仕事によって出来上がった生活の道具である、ざるや籠をイメージしてこの客室のテーマを「工芸」としました。	98.31	4名
12	S1	分銅/BUNDO	日本建築	敷地内にある町家、蔵といった建物は江戸期から大正期にかけての建築様式を今に伝えるものです。客室名の【分銅】は秀吉や家康などの権力者が金や銀を大きな分銅の形に鋳造させて貯蓄にしたことから商売繁盛や金運を招く縁起物とされていたと言われていました。北前船交易で財を成した豪商をイメージして名付けました。	33.85	2名
13	S1	青海波/SEIGAIHA	日本建築	敷地内にある町家、蔵といった建物は江戸期から大正期にかけての建築様式を今に伝えるものです。客室名の【青海波】は広い海がもたらす恩恵や無限に広がる波の文様。未来永劫へと続く幸せと平安な暮らしへの願いが込められています。	48.47	2名
14	S1	蔵鍵/KUROKAN	日本建築	敷地内にある町家、蔵といった建物は江戸期から大正期にかけての建築様式を今に伝えるものです。客室名の【蔵鍵】は大切なものを守る蔵、その扉を開く「鍵」から生まれた文様です。商人の町であった三国にはいまだに多くの蔵建築が残っています。蔵を改修した客室であることから名付けました。	41.67	2名
15	S1	亀甲/KIKKO	日本建築	敷地内にある町家、蔵といった建物は江戸期から大正期にかけての建築様式を今に伝えるものです。客室名の【亀甲】には亀の甲羅が固く身を守ることから、長寿や健康さらには魔除けの意味があります。長い風雪に耐えてきた丈夫な建物が今後も長く続くように願いを込め名付けました。	39.76	2名
16	S2	千鳥/CHIDORI	祭礼	國神社の古くからの神事。三國神社に最も近い客室であり、2階客室から眺める山事は圧巻の迫力。客室名の【千鳥】には千鳥→千取りからさらに「千の福を取る」という意味があります。また海上を飛ぶ千鳥を描いた「波千鳥」は世間の荒波を乗り越えるという夫婦円満、家内安全の意味もあります。三國湊の伝統的な建築様式「かぐら建て」を残した客室で、庭には笈谷石（しゃくだにいし）を再利用。	69.89	2名

「オーベルジュほまち 三國湊」

・ 特徴

- 三國湊でしか見られないかぐら建て等の町家を改修。
- 外観はできる限り維持保全しつつ耐震性を向上。内観は福井県産の木材や笏谷石なども使用。地域の伝統的な家具や調度品も活用。
- 三国町安島の海女が昔、仕事の合間に行っていた刺し子である「モッコ」柄から着想を得て客室の名称を設定。

例： 工の字／KONOJII

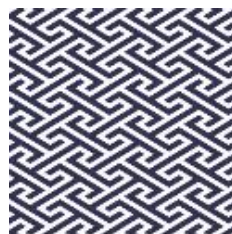


定員数：4名
(2名は和室に布団)

延床面積：89.26㎡

2階建て

「工（こう）の字」を斜めにして、連続してつなぎ合わせた文様。延命や長寿の意義があり、真ん中に一本筋が通り、芯を貫く意志の強さを表現。



刺し子柄「工の字繋ぎ」

麻の葉／ASANOHA

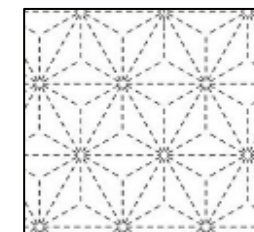


定員数：2名

延床面積：69.91㎡

2階建て

「麻の葉」は成長が早く真っ直ぐに伸びるため、子供の健やかな成長の願いが込められている。麻の丈夫な繊維はしめ縄や祓串などの神具にも使われていることから魔除けの意義があり、昔から産着の柄として親しまれている。



刺し子柄「麻の葉」

「タテルヨシノ 三國湊」

- 三國湊及び福井県産の食材を活用したレストラン。
- フレンチ料理のスターシェフであり、「メゾン タテル ヨシノ」をはじめ多くのワールドクラスのレストランをプロデュースした吉野建氏※1を迎え、国内外からの全てのゲストの期待を超える料理を提供
- 座席数：最大30席 （8テーブル16席、カウンター4席、個室 1室 10席）



• 吉野 建 氏 プロフィール

1952年鹿児島県生まれ。1979年に渡仏し、当時ジョエル・ロブションが率いるパリ「ジャマン」をはじめ、数々のフランス料理店で修業。フランス・日本両国のミシュランガイドで星を獲得。2007年スイス・ダボス会議にて料理を担当。

2010年フランス政府より農事功労章 (Ordre du Mérite agricole) シュヴァリエを贈られる。2011年発表のフランスにおける国家最優秀職人賞 (MOF) の審査員をアジア人として初めて務め、2013年4月には毎年ベルギーにて行われるiTQi (国際味覚審査機構) による「Superior Taste Award (優秀味覚賞)」の審査員を務める等、料理界において数々の功績を残す巨匠。

• ロゴマーク



Tateru Yoshino
Mikuniminato

吉野建シェフのイニシャルの「T」と「Y」がモチーフ。シェフの想いに沿って「柔らかさ」と「優しさ」を表現。ホテルとのつながりをイメージし、海風になびくシルエットを取り入れている。

• 営業時間

朝食:	7:00~10:00(LO9:00)
夕食:	17:30~22:00(LO20:00)



三國湊で楽しむこと

- 散策スポット（一部）：

三國神社：



大山咋命（くいのみこと）と継体天皇をお祀りした神社。

入口に大きくたたず随神門は、三國湊の有力な北前船船主であった町衆が寄進したもの。

鳥居右横にあるケヤキは、樹齢約600年ともいわれ威風堂々とした姿。

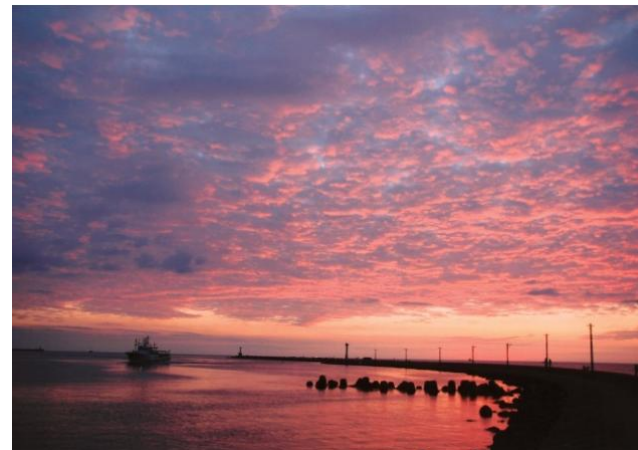
瀧谷寺：



1375年に創建された三國で最古の寺院。本堂・観音堂・山門棟の建造物は重要文化財に指定されている。

参道のヤブ椿や境内の名勝庭園には落ち着きのある美しい風情を漂わせている。

三國湊突堤：



三國湊は、北前船交易で栄えていた当時、九頭竜川から流入する土砂の堆積で港内の推進が浅くなる問題に悩まされていた。

明治期に入り、三国の豪商たちが、オランダ人技師たちの協力のもと突堤工事に取り掛かる。

明治三大築港の1つで国の重要文化財に指定されている。

旧岸名家：



北前船交易において、材木商を営んでいた三國湊を代表する商家の1つ。その家が今でも残っており、建物内を見学することができる。

「かぐら建て」と呼ばれる建築様式が特徴。

三國湊で楽しむこと

・ アクティビティ例：

街歩きツアー：



北前船の寄港地として発展した町としての奥深い歴史や文化などの話を交えながらの街歩き。

三味線体験：



三味線の演奏と江戸小唄が流れる竹よし。抹茶を飲みながら、江戸小唄の演奏を聴いたり、座敷では三味線の演奏体験をすることもできる。
店内には、この界隈に花街があった頃の芸妓の写真などが飾られている。

提灯作り体験：



1791年に三国で創業した提灯の店、いとや。全国でも数少ない、一貫製造の提灯工房。

提灯づくり・絵付け体験がある。

・ グルメ：

越前がに：



福井県で水揚げされたオスのズワイガニのこと。甘くひきしまった肉質と芳醇なコクの蟹味噌が特徴。

三國湊で水揚げされる越前がにの特徴は「鮮度」。船が夕方5時頃寄港して、夜6時には市場でセリが行われる。地元ではどこよりも新鮮な越前がにを食べることができる。

時期：11/6-3/20

甘エビ：



三國湊は福井県内1位の甘エビの水揚げ量を誇る。

1959年頃、三國湊でカニ漁の網に偶然入ってきたことで水揚げされるようになった、と言われている。

時期：春～秋

酒まんじゅう：



三国を代表するお菓子のひとつ、酒まんじゅう。江戸時代に往来した北前船の船乗り達から製法を学び、今に伝えられている。

甘酒を熟成させたものをしぼって生地と合わせた後、餡を包んで丸く形作る。

地酒：



福井県は昔から米の生産量が国内有数であり、酒造りに適した米がたくさん生産されている。

県内には昔ながらの蔵元が大小合わせて30以上あるため、日本酒の種類も豊富。

三國湊 近隣のみどころ

東尋坊：



オーベルジュほまち 三國湊から約3 kmに位置する。

巨大な柱状の岩（柱状節理）が織り成す豪快な景観が見事。

国指定天然記念物。

丸岡城：



江戸時代以前に建造された天守が残る現存12天守の一つ。北陸地方で唯一の現存天守。国の重要文化財。

天守の周りには400本のソメイヨシノが植えられ、「日本さくら名所100選」に認定されている。

永平寺：



1244年、道元禅師によって開かれた禅の修行道場。

今も多くの修行僧が日々厳しい修行に励んでおり、参拝者はその様子を伺い知ることができる。

平泉寺白山神社：



拝殿へ続く石畳の両側では、木々の間に広がる緑の苔が美しい。

白山信仰の越前側の拠点。

越前和紙の里：



越前市は、高級手すき和紙の産地として日本一のシェアを誇る。

紙の神様を祀る岡本神社・大瀧神社は、神社建築の中で「日本一複雑な屋根」と言われる。

タケフナイフビレッジ：



13社の刃物会社が集まる越前打刃物の共同工房。

鍛冶や研ぎ職人の作業風景を無料で見学できる。

歴史紹介もあり。

事業主と運営会社について

事業主：株式会社Actibaseふくい



観光サービスと町並み整備を通じて、「古き良き三国湊」の価値を高め、国内外へその情報を発信することで、観光客誘致とエリア内消費の促進を図ります。また、地域・企業・自治体等のメンバーと連携し、受入環境整備における多様な課題に対応しながら、地域生活に配慮したまちづくりに取り組んでまいります。

「Actibaseふくい」の「Actibase」は、「Activate（活性化する）」と福井を「base（拠点）」にするという言葉の造語で、「福井に拠点を置き、地域活性化の起爆剤になりたい」との思いを表現しています。なお、「ふくい」のひらがな表記は、さまざまな課題に対し「やわらかく弾力的に対応したい」との思いを込めています。

- ・社名 株式会社Actibaseふくい
- ・代表者 代表取締役 樋口佳久 (Yoshihisa Higuchi)
- ・所在地 〒913-0046 福井県坂井市三国町北本町四丁目4番18号
- ・設立 2022年10月19日
- ・資本金 4.95億円（出資金9.90億円）
- ・事業概要 三国湊エリアにおける宿泊運営事業、料飲事業、アクティビティ事業、町並み等整備事業
- ・株主 NTT西日本、NTTアーバンソリューションズ、熊谷組、住友林業、福井銀行、福井信用金庫、セーレン、福井新聞社、福井放送、フクビ化学工業、北陸電力（11社）
- ・URL <http://ab-fukui.com/>



「オーベルジュほまち 三国湊」運営会社：
コアグローバルマネジメント株式会社

どこの系列にも属さないオリジナルホテルブランドを全国各地で展開し、観光・都市型・ビジネスなどの用途や目的に合わせたブランド展開、地域特性や各土地の魅力を最大限に引き出す「空間」・「食」そして「体験」をプロデュースしています。

その地域がもつ文化を丸ごと楽しめるリゾート系ブランドであるヒューイットリゾートに加え、8,000～10,000冊のMANGA Libraryを備えた都市型観光ホテル系ブランドであるクインテッサホテル Comic & Booksなど、個性あるホテルを今後もオープン予定です。

- ・社名 コアグローバルマネジメント株式会社
- ・代表者 代表取締役社長 中野 正純 (Masazumi NAKANO)
- ・所在地 東京都中央区晴海一丁目8番12号
- ・設立 2007年7月4日
- ・資本金 2,000万円
- ・事業概要 国内29ホテルの運営事業など（2025.7.1 現在）
- ・展開ブランド ヒューイットリゾート（HEWITT RESORT）：
函館・軽井沢・那覇・那須（2024年11月OPEN）
ヒューイットホテル（HEWITT HOTEL）：甲子園
クインテッサホテル（QUINTESSA）：
札幌[3]・船橋・銀座・羽田・大垣・伊勢志摩・大阪[2]・広島（2025年8月OPEN予定）
福岡[4]・小倉・佐世保・鹿児島
ザ エディスターホテル（THE HEDISTER HOTEL）：成田・京都
その他：オーベルジュほまち三国湊、緑翠亭 景水、かなたのさと、
ホテルメルディア秋田（2025年5月）
- ・URL <https://cgman.jp/>

問い合わせ：

「オーベルジュほまち 三國湊」広報・PR代理

ブルームーン・マーケティング株式会社（担当：一岡・野田）

TEL： 03-6859-8484（平日9:00-18:00）

E-mail：homachi@bluemoonmarketing.jp